

2014年12月1日

報道関係各位

中部学院大学  
中部学院大学短期大学部

## 地域の未来を創生する 「高校・大学・行政連携」会議について

中部学院大学（学長 古田 善伯）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、地域の未来を創生するために、中濃圏域ならびに各務原市周辺にある高校、行政機関などと連携を図る会議を企画し、学校関係者、行政関係者が初めて一堂に集い、幅広く意見交換することになりました。

同エリアでは、産業、文化、福祉、まちづくりなど、さまざまな分野で、いろいろな営みが行われています。また、教育機関は、地域の未来を担う若者たちが、地域に愛着を持って地域に貢献する態度を養う役割を担っています。本学はこれまで、近隣の市との包括連携協定や、近隣にある多くの高校との高大連携を進めてきました。講義では「郷土の学習」「体験型授業」など、多くの教育を実践しています。これからもそれらの教育活動は益々必要であると考えています。

それらの背景を踏まえ、今後、地域の課題を解決したり、教育効果を高める特色ある教育を実践したりするために、高校と大学、地域が一体となって取り組む契機として、「高校・大学・行政連携」会議を開催します。

### 記

- 日 時 2014年12月8日（月）午後3時30分～5時
- 場 所 中部学院大学 関キャンパス 大会議室（関市桐ヶ丘2丁目1番地）
- 出席者 中濃圏域（関市・郡上市・美濃市・美濃加茂市・可児市）各務原市に  
立地する高等学校代表  
中濃圏域、各務原市の自治体、教育委員会代表  
中部学院大学・同短期大学部教職員
- 主 催 中部学院大学（大学院/大学/短期大学部）

■ プログラム

15:30 開 会

あいさつ 中部学院大学 古田 善伯 学長  
中部学院大学短期大学部 片桐 多恵子 学長

報 告 1 中部学院大学の「地域連携」「高大連携」の概要

報 告 2 実践事例①

「地域・高校・大学を結んで取り組む学習

－岐阜各務野高校とのアプリ共同開発－

中部学院大学 経営学部 経営学科 安藤 信雄 教授

実践事例②

「郡上市出身学生が主体となって郡上市の子育て支援課題に挑む

－ぐじょうファミリーフェスタでの取り組みから－

中部学院大学短期大学部 幼児教育学科 平松 喜代江 准教授

提 案 ① 高大連携ゼミナール

② 「ふれあいコラボ」ワークショップ

16:30 協議・意見交換

① 各校の実践事例

② 地域からの期待

③ これからの取り組み

④ その他

17:00 閉 会（予定）

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 地域連携推進センター 担当：浅野・鈴木

TEL:0575-24-2238（関キャンパス） Mail : cgrd@chubu-gu.ac.jp